

第 67 回兵庫県高等学校総合体育大会柔道競技 兼 第 72 回全国高等学校柔道大会県予選大会 実 施 要 項

○期 日

2023 年 6 月 2 日 (金)	第 1 日目	開会式	午前 10 時 00 分		
		女子個人試合公式計量		全階級 (8 時 30 分～9 時 00 分)	
		女子団体試合		1 回戦～決勝戦終了まで	
		男子団体試合		1 回戦～上位 8 校決定まで	
3 日 (土)	第 2 日目	開始式	午前 10 時 00 分		
		男子個人試合公式計量		全階級 (8 時 30 分～9 時 00 分)	
		男子団体試合		準々決勝～決勝戦終了まで	
		女子個人試合、全階級		1 回戦～決勝戦終了まで	
4 日 (日)	第 3 日目	開始式	午前 9 時 30 分		
		男子個人試合、全階級		1 回戦～決勝戦終了まで	
		* 計量に関しては、別記「○注意 5」を確認すること。			

○場 所 高砂市総合体育館 (J R 宝殿駅下車南西徒歩 15 分)
高砂市米田町島 526 TEL : 079-432-9090

○参加資格

- 1 選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校 (中等教育学校後期課程を含む) に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- 2 選手は、兵庫県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、柔道競技専門部に登録し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得たものに限る。
- 3 今年度、兵庫県柔道連盟を経て、(公財) 全日本柔道連盟に登録を完了したものとする。
- 4 平成 16 (2004) 年 4 月 2 日以降に生まれたものとする。但し、同一競技の出場は 3 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数を指し、専門部が責任をもって調整・確認する。) 大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- 5 チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- 6 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の 2 年間に限り、合同チームによる大会参加を認める。
- 7 転校・転籍後の 6 か月未満のものは、参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる) 但し、一家転住などやむを得ない場合は、兵庫県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に 6 か月が経過し、出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合には、そのルールに従った変更認める。
- 8 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在籍する学校の校長の承認を必要とする。
- 9 外国人留学生については、卒業を目的として入学をしていること。(短期留学は認めない。)
- 10 脳震盪の対応について、選手及び指導者は、つぎの事項を遵守すること。
 - ア 大会前 1 か月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、医師から出場の許可を得ること。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、前の者は、至急、専門医 (脳神経外科) の精査を受けること。
 - ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、医師から許可を得ること。
 - エ 当該選手の指導者は、大会事務局及び (公財) 全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- 11 皮膚真菌症 (トングランス感染症) については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- 12 大会出場者は、有段者もしくはそれに準ずる技量を有する者とし、顧問の判断により参加させる。
- 13 選手は必ず開会式 (開始式) に参加すること。参加しない場合は出場を認めない。
(地区予選も準ずる) 注) 出場申込後の無断欠場は次の試合の出場を認めない。

○競技規則

- 1 国際柔道連盟試合審判規定による。
- 2 「優勢勝ち」の判定基準
 - ア 団体試合は、「技あり」又は「僅差」以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。延長戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。
 - イ 個人試合は、「技あり」又は「僅差」（「指導」差2）以上とする。試合終了時に得点差がない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を行う。延長戦は「技あり」以上があった時点、又は「指導」の数に差が出た時点で終了とする。
- 3 試合時間は、団体試合、個人試合ともに3分間とする。但し、ゴールデンスコア方式の延長戦は時間制限を設けない。

○競技方法

- 1 団体試合（男子・女子ともに点取り試合）
 - ア 試合はトーナメント戦を実施する。
 - イ トーナメント戦の勝敗決定は次による。
 - (1) 判定基準
 - ※選手対選手それぞれの試合の勝敗は、「技あり」又は「僅差」以上とする。
 - ※僅差は指導差2とする。
 - (2) 「技の内容」と「指導」の重み
 - ※【一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞僅差】の順とする。
 - (3) 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定は次による。
 - (ア) 勝ち数の多いチームの勝ちとする。
 - (イ) (ア) で同等の場合は、「一本」による勝ち数が多いチームを勝ちとする。
 - ※但し、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
 - (ウ) (イ) で同等の場合は、「技あり」による勝ち数が多いチームを勝ちとする。
 - (エ) (ウ) で同等の場合は、「僅差」による勝ち数が多い方チームを勝ちとする。
 - (オ) (エ) で同等の場合は、代表戦を3分後に開始する。
 - ※代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。
 - ※代表戦の判定基準、実施方法は、「技あり」又は「僅差」以上とし、試合終了時に得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。なお、延長戦では「技あり」以上の得点、又は「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
 - ※代表戦において、指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、ゴールデンスコア方式の延長戦において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、再度、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。
 - ウ 男子は選手5名、補欠1名、女子は選手3名、補欠1名とする。（全日制と定時制を混えない。外国人留学生は男女とも1名以内）
 - ※男子は3名から5名でも良い。なお3名もしくは4名の場合は、エントリー時に後ろ詰め（先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける）とする。また、4名または5名でエントリーした場合の欠員は空白とし、後ろには詰めない。女子は2名で申込出場可。配列は、どこを空けても良い。
 - エ 選手の変更は、登録選手に事故のある場合に限り、1名のみ認める。但し、第1日目の開会式までに所定の選手変更用紙を提出すること。
- 2 個人試合
 - ア 試合は体重別試合とし、男子は100 kg超級・100 kg級・90 kg級・81 kg級・73 kg級・66 kg級・60 kg級の7区分、女子は78kg 超級・78 kg級・70 kg級・63 kg級・57 kg級・52 kg級・48 kg級の7区分とする。
 - イ 試合はトーナメント戦を実施する。
 - ウ 指導の累積により両者反則負けとなった場合は、スコアをリセットし、ゴールデンスコア方式の延長戦において勝敗を決する。また延長戦において、指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、再度、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。

- エ 男子の出場選手数は、100 kg超級・100 kg級・90 kg級は各地区より推薦。81 kg級は 56 名、73 kg級は 64 名、66 kg級は 72 名、60 kg級は 80 名とし、各地区の出場人員は各地区代表顧問と協議の結果決定する。

○参 加 料

- | | | | | | |
|---|--------|-----|-----------------|---------------|------------|
| 1 | 男子団体試合 | 1 校 | 12,000 円、プログラム代 | 2,500 円 (5 部) | 計 14,500 円 |
| | 個人試合 | 1 名 | 2,000 円 | | |
| 2 | 女子団体試合 | 1 校 | 10,000 円、プログラム代 | 1,500 円 (3 部) | 計 11,500 円 |
| | 個人試合 | 1 名 | 2,000 円 | | |

○申込方法

団体試合…各校の顧問は所定の申込用紙に入力し、申込書を 2 部プリントアウトし、(1 枚は各校保管)

① 1 枚は学校長印を押印の上、各地区代表顧問に郵送で申込む。

② 入力したシートを 県高体連柔道部担当者までメール送信で申込むこと。

上記 2 点を 5 月 8 日 (月) 17 時までに完了すること。(男子は 3 名、女子は 2 名で申込可)

《注意》期日に遅れた学校は一切受け付けない。

個人試合…各地区代表顧問が各地区大会の結果を入力したシートを 5 月 6 日 (金) までに
滝川高校：田口幸二、及び白陵高校：松島宗平へ男・女一括申込をする。

○抽 選

- 個人試合については、5 月 11 日 (木) 神戸高等学校会議室において、各地区代表顧問の立会いのもと実施する。
- 団体試合については、5 月 12 日 (金) の全県顧問会議にて実施する。

○注 意

- 試合当日、各校の顧問または監督、引率教員の付き添いのないチームの出場は認めない。
- 競技役員は開会式 (開始式) の 30 分前に集合のこと。
- 各校顧問は、大会プログラム・マスコミ等への掲載、個人情報保護については各選手の同意を得ること。
- 大会会場へは、公共交通機関を必ず利用すること。
- 計量については、両日とも 8 時 30 分～9 時 00 分 (1 回のみ) に公式計量を行う。但し、両日とも公式計量後 30 分間は再計量を認める。
(*公式計量、再計量でそれぞれ計量器に乗れるのは、1 回ずつまで)
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策については、別途定める。参加者は、主催者が定める新型コロナウイルス感染症の感染予防措置を必ず遵守すること。大会開催にあたり、感染予防措置を遵守できない参加者には、参加の取り消しや途中退場を求めることがあり得る。なお、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、基本方針、各ガイドライン及び感染症対策方針の内容が変更されることがあるため、参加者は内容の変更の有無を適宜確認すること。
- 本大会についての問い合わせは、各地区代表顧問へ依頼する。

○備 考

- 本大会の男子団体試合、女子団体試合の優勝校は第 72 回全国高等学校総合体育大会柔道競技大会に出場する権利を得る。
- 本大会の男子個人試合、女子個人試合の各階級優勝者は第 72 回全国高等学校総合体育大会柔道競技大会に出場する権利を得る。